

令和8年度 第1回 南箕輪村地域公共交通会議
南箕輪村地域公共交通協議会
議 事 録

日 時：令和8年6月23日(火) 10:00～12:00

会 場：南箕輪村役場 2階 講堂

1. 開会

- ・田中副村長より開会にあたり挨拶

2. 規約の改正について

- ・会議の設置要綱の改正について事務局より説明
- ・協議会の規約の改正案について事務局より説明し承認

3. 会長互選及び副会長・監事指名

- ・会長：田中副村長、副会長：倉澤委員、監事：山崎委員、城取委員

4. 協議事項

(1) 令和7年度の事業実施状況について

- ・事務局より、資料に基づき説明

●山崎委員 (福祉課)	今年度、事業規模縮小となったが、まっくんバスの運行に係る特別交付税の見込みは概ね例年どおり70%程度が見込まれるか。
●事務局	特別交付税の交付割合は概ね変わらないと見込んでいる。
●田中会長 (副村長)	14ページの4の事業費は当初予算額ということでよいか。
●事務局	そのとおり。
●倉澤委員 (大芝区長)	予算額の面で、過去3年の経常損益の状況は村の想定内か。
●事務局	想定内かどうか、というよりは、今までのまっくんバスの運行の経過として、本会議でお認め頂きながら、長年運行をしてきた中で必要経費と

して支出していたもの。見直しにあたっても議論になる部分でもあり、また協議いただきたい。

(2) 令和8年4月より運行を見直したまっくんバスについて

・事務局及び百瀬委員より、資料・別紙に基づき説明

- | | |
|-----------------|---|
| ●倉澤委員
(大芝区長) | まっくんバスの利用状況について、弥生ヶ丘線の朝の乗車人数に対し、夕方はその半分程度になっている。そのあたりの要因について、いろいろあると思うが、追跡調査をする予定はあるか。 |
| ●事務局 | ご指摘のとおり、朝は時間が決まっているのに対し、夕は三々五々、というところで利用がばらけていると思われる。これから見直していく中では、帰りの中で需要が固まっている部分を洗い出していくことも必要とは考えている。具体的にどうというものはないが、検討したい。 |
| ●倉澤委員
(大芝区長) | 高校生対象ということだが、実際利用するはずの高校生の人数的なものは把握しているか。 |
| ●事務局 | 昨年度運行ルートを考えるにあたっては、村内の中高生の住居地分布と、南箕輪中学校からの進学先のデータについては資料としている。しかし、どの地区からどの高校へ行く子が何人、までは追えていない。 |
| ●倉澤委員
(大芝区長) | 実際の人数に対しての利用者数の割合が聞きたいところ。 |
| ●事務局 | ターゲットとしている人数に対しての利用者数であるが、ご自宅の位置と進学先の都合上一律でないので、割合というのは難しいかと思われる。 |
| ●倉澤委員
(大芝区長) | 目的地は例えば弥生なら弥生ということで限定できる。
その目的地に向かうはずの高校生の数に対して、実際利用がある人数がどの程度かというのがわかればよいと思うが。 |
| ●事務局 | バス路線の設計上、鉄道駅から遠い地区からの鉄道駅までのアクセスを補完するという考えがまず最初にあり、そこに近隣高校や病院への接続を盛り込んだ形。どこからどこへ行く高校生が母数として何人いて、うち何人がじゃあ実際バス利用しているか、というところまでは追いついていない。 |
| ●百瀬委員
(村議会) | まず、高齢者等タクシー利用助成券について、4月5月での利用枚数1900枚弱で、1回3枚までなので利用回数としては600余かと思う。どこで乗ってどこで降りたかということまでわかるものか。
もう1点、伊那市、箕輪町とぐるっとタクシーがあるが、事業者としては村での運行についても対応できるのか。 |

●田中会長 (副村長)	交通事業者からということで、伊那バス福澤さんのほうから何かあるか。
●福澤委員 (伊那バス)	伊那タクシーはグループ会社ではあるが、別の独立した会社になっているためわかりかねる。
●山崎委員 (福祉課)	どこで乗ってどこで降りたか、ということについてだが、現状の制度では仕組みとしてそれが追えない。ただ、福祉移送サービスのほうでは利用目的を控えており、利用対象者の層が概ね重複するので参考になるかと思う。 福祉移送サービス利用目的（通院：63.6%、買い物 19.7%、公共施設 16.8%） ただ、移送サービスと異なり、タクシー券は曜日や利用時間に縛りがないため、買い物や娯楽目的の利用が増えている可能性はある。
●田中会長 (副村長)	施策を拡大したところだが、今後調査等の予定はあるか。
●山崎委員 (福祉課)	現状具体的なものはないが、申請者への郵送によるアンケート等是可以する。調査して実態を把握するということは検討したい。
●田中会長 (副村長)	ある程度実態を把握していく必要はあるかと思う。また福祉サイドで検討してほしい。社会福祉協議会のほうではそのあたりいかがか。
●城取委員 (社会福祉協議会)	福祉移送サービスの利用者から受付をする際にどこから乗ってどこで降りるかは聞いている、目的のみとりまとめているが、内容が把握できればと考えている。
●田中会長 (副村長)	地域公共交通の事務局と連携して福祉サイドも動いてほしい。 住民の視点から、藤松委員なにかあれば。
●藤松委員	この4月以降、路線が全く変わってしまって、買い物、大芝の湯、など行きたい場所に行けなくなってしまったという人が非常に増えたと思う。私にとっても不都合な運行になってしまったなと感じている。
●田中会長 (副村長)	ありがとうございます。
●倉澤委員 (大芝区長)	中学校への説明会が昨年2月にあったとあるが、保護者側からの質問や要望等はなかったか。
●事務局	特段質問やご意見などはいただかなかった。 ただ、令和7年の7月に、中学3年生の保護者向けに対してアンケート調査を実施している。この際には、運行の概要などお示しはできなかったが、通学通院支援バスということで考えており、どのぐらいの距離にバス停があれば乗るか、運賃面はどうか、などの設問と、自由記載欄を設けてご意見を参考とした。

●倉澤委員 (大芝区長)	対象は中学生ということか。
●事務局	その通り。高校生になるとそれぞれ散って行ってしまう、まとめてお伺いする形が難しいため、来年度高校生になる代ということで中学３年生の保護者を対象とした。
●倉澤委員 (大芝区長)	結局、まだ中学生なので、高校生活始まってからの想定がまだあまりわかっていない場合がある。帰りの時間帯についてなど、あまり情報が集まっていないのでは。情報の集め方については一考する必要がある。 もう１点、本年度の利用状況のなかで、数字的にはっきり出ている部分があるが、このあたりの見直しについてはこの会議でやっていくということによいか。
●事務局	全面改正までは手が回らないが、軽微な改正など今年度考えていきたい。
●倉澤委員 (大芝区長)	明らかにゼロというところは早急に対応していく必要がある。 今年度とは言わず、スピード感を持って考えたいがどうか。
●事務局	バス路線の改正などについては、運輸局へ許認可申請を行っているものになり、この会議で調えたものを申請し、運輸局での事務処理期間があるため、どうしてもある程度時間がかかる。皆様からのご意見いただきながら考えていきたい。
●田中会長 (副村長)	山屋さん、その点いかがでしょうか。
●山屋 氏 (長野運輸支局 輸送・監査部門)	道路運送法上、許認可の変更などする場合には一定の標準処理期間がかかる。事前に相談いただければ対応する。
●田中会長 (副村長)	今の点についても、今回第１回目なので、皆様と共有していきたいという目的もある。今のご意見含め、第２回以降で検討していきたい。
●丸山委員 (伊那建設事務所)	道路管理者と、個人的な意見も含むが、南箕輪村は伊那市と入り混じる部分もある。相互のバスの利用者など、総合的に考えあわせていく必要がある。

(3) 令和8年度の事業計画等について

- ・事務局より、資料に基づき説明

- 田中委員
(副村長)

この内容について、質疑、ご意見等あればお願いします。

- 百瀬委員
(村議会)

本年度の予定について、2回目8月、3回目11月、4回目1月、5回目3月となっているが、予算のことなど考えるとこれでは少し遅くないか。せめて3回目、4回目を前倒ししないと厳しいのでは。今回議会で提起をした背景には、村民の足というところで、不便を感じている方が多くいるという事態がある。早めに手を打っていく必要があり、ここの委員の皆さんには、少しタイトになっても協議していただいて、前向きに進めていきたいが、いかがか。

- 事務局

早め早めということで検討をする。

- 田中会長
(副村長)

忙しくなるかと思うが、予算のタイミングや関係機関との調整を考えると、精力的に進めていく必要はある。事業計画については事務局でもう一度考える。

(4) その他

- ・高遠線の地域間幹線系統別確保維持計画について、事務局より説明、承認
- ・藤松委員より、委員の選任について、学校関係者、民生児童委員など加える提案
事務局預かりで検討し、第2回以降に示すこととした

5. その他

次回開催について8月を予定している旨お知らせ

5. 閉会

- ・副会長より